

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第017号

令和3年8月20日(金)発行

夏休み後半の夏季補習が始まり、二学期が実質上スタートしたようなものではないでしょうか。「神戈陵を渡る風」を、少しだけ早めて、夏休み・特別号を今週と来週発行します。第一弾は夏休み期間中の皆さんの活躍を振り返ってみたいと思います。 **今夏も大活躍!! 辺高生**

受験を征する夏!

「+α学習の会」9 to 5



8/3~8/5
3年生が自主参加

尚学舎にて一日8時間の自習学習を実行するイベントを行いました。

私が思うに、夏を征するとは、一人ひとりが己と向き合い真剣に勉強に励む時間をたくさん持つことです。

がんばった成果はすぐにではなく、後から出てくるものです。

諦めずに、己

を信じ、努力を続けることが大切だと確信しています。 **チェスト辺高生**

「夏を征する者、受験を征す」

目指せ夢実現

『ふうりんの小径』ボランティア参加

7月17日(土)

7月31日(土)

8月29日(日)

南九州市観光協会と連携し、地域の新しい風物詩を目指して「ふうりんの小径」というイベントに延50人も本校生が参加しました。情報発信の正しい知識を学ぼうと講師を立てて



癒やしの風鈴300個
南九州市観光協会の依頼で、本校生がボランティアとして参加した「ふうりんの小径」イベント。地域の魅力を発信し、観光客の誘いを目的とした。川辺高校は、ボランティア活動を通じて地域貢献に努めている。



知事選出選挙区
南九州市観光協会の依頼で、本校生がボランティアとして参加した「ふうりんの小径」イベント。地域の魅力を発信し、観光客の誘いを目的とした。川辺高校は、ボランティア活動を通じて地域貢献に努めている。



楽しさを体験できました。今後の活動の良い方向付けと動機付けが出来たと思っています。



『かわなべ軒先夜市』のボランティア参加

7月24日(土)



学童保育実習 より

8月2日(月)~8月4日(水)



(一日目の様子)

川辺高校生は、様々なボランティアに参加しています。昨年から今年にかけて、新型コロナウイルス感染症



の感染拡大防止を鑑みて地域の大きなイベントは中止となることが多くて残念です。しかし、地域の児童・生徒達は日常の生活を送っています。

今回は学童にいる児童と高校生のふれあいの場を作ろうと川辺高校活性化協議会のWG(ワークグループ)による企画で、高校生による学童保育への出張保育が実現しました。延べ26名もの高校生が自主的に参加して子育て支援に携わる職業体験として「生徒による出前保育」を3日間行いました。事前に生徒が企画し、絵本の読み聞かせや知恵と工夫を凝らした工作やゲーム(一日目は巨大シャボン玉作戦)などを通して子どもたちと楽しく学んでいます。



宿題などの学習のサポート(二日目以降)もしました。生徒もそうですが、学童の皆さんもとても楽しそうでした。この企画が、参加した生徒の夢や目標の設定に役立てれば幸いです。

地域行事に積極的に参加する本校の生徒たちは、とても生き生きとして活動しています。

地域の方々に元気な辺高生の姿をもっと見てもらいたいものです。

夜のお店街市にぎわう
南九州市川辺の関連通り商店街が7月24日夕から夜にかけて、「かわなべ軒先夜市」があった。写真、商店などの軒先や空き地に飲食店や物販、ワークショップなど売出しの出店が並び、市民らは夜の通り歩きを楽しんだ。



2019年から3回開催してきた同様のイベントを新しい時間に開くと、商店街で企画し、市民らは夜の通り歩きを楽しんだ。



←受付をしている生徒の様子



月野太陽くんの↑単独ステージ!



←演奏で盛り上げた音楽部(少人数でも頑張りました)